

全国商品取引所出来高

8月に回復の徴候出る

平成16年秋から全国商品取引所の落ち込みが目立っていたが、8月には回復の徴候が出てきた。平成17年1～8月の出来高で、前年同期並みを維持したのは東穀取のみで、東工取は約30%減。関西、福岡、横浜、大阪の各商取は前年同期の半以下になり、全体で約25%減。

しかし、8月だけでみると、東穀取が大きく伸び、東工取は約14%減まで回復し、全体では約17%減。商品別では東工取のゴムが前年同月の約10倍に激増し、東穀取のNon-GMO大豆、一般大豆、ロブスタ種コーヒ生豆、粗糖の伸びも大きい。東工取の金も前年同月上回った。

商品別・取引所別出来高順位表(単位:枚、平成17年8月)

〔社全国商品取引所連合会調べ〕

順位	商品名	取引所名	出来高	平成16年8月	前年比	前年度同月順位	順位UP/DOWN
1	ガソリン	東工取	1,414,490	2,363,526	59.8	(1)	→
2	金	〃	1,148,224	1,111,300	103.3	(4)	↗
3	ガソリン	中部取	1,124,938	1,667,990	67.4	(2)	↘
4	ゴム	東工取	1,059,311	107,624	984.2	(14)	↗
5	Non-GMO大豆	東穀取	1,009,114	677,538	148.9	(7)	↗
6	白金	東工取	762,686	1,105,881	68.9	(5)	↘
7	灯油	中部取	666,170	1,145,741	58.1	(3)	↘
8	灯油	東工取	487,547	1,002,884	47.6	(6)	↘
9	とうもろこし	東穀取	421,594	389,784	108.1	(8)	↗
10	アパカコーヒ生豆	〃	346,482	281,199	123.2	(9)	↗
11	原油	東工取	237,372	182,910	129.7	(10)	↗
12	一般大豆	東穀取	197,450	112,912	174.8	(13)	↗
13	小豆	〃	66,864	25,494	262.2	(29)	↗
14	銀	東工取	58,532	96,542	60.6	(15)	↘
15	とうもろこし	福岡取	56,610	136,894	41.3	(11)	↘
16	ゴム(RSS3)	大阪取	56,377	61,368	91.8	(20)	↗
17	ロブスタ種コーヒ生豆	東穀取	51,366	27,972	183.6	(26)	↗
18	粗糖	〃	33,012	19,781	166.8	(31)	↗
19	冷凍えび	関西取	27,808	129,296	21.5	(12)	↘
20	ゴム指数	大阪取	26,858	45,929	58.4	(21)	↘
21	アルミニウム	〃	19,116	83,614	22.8	(16)	↘
22	パラジウム	東工取	14,796	16,688	88.6	(32)	↗
23	アルミニウム	〃	13,387	22,443	59.6	(30)	↘
24	ゴム(TSR20)	大阪取	10,219	81,242	12.5	(17)	↘
25	日本生糸	横浜取	9,597	14,642	65.5	(33)	↗
26	コーヒ指数	関西取	9,578	43,039	22.2	(22)	↘
27	Non-GMO大豆	福岡取	7,258	14,243	50.9	(34)	↗
28	国際穀物等指数	関西取	7,187	26,085	27.5	(28)	↘
29	野菜	横浜取	5,295	-	-	-	-
30	鶏卵	中部取	2,947	80,225	3.6	(18)	↘
31	Non-GMO大豆	関西取	2,901	28,118	10.3	(25)	↘
32	大豆ミール	東穀取	1,324	1,983	66.7	(37)	↗
33	じゃがいも	横浜取	1,101	79,953	1.3	(19)	↘
34	ニッケル	大阪取	884	29,920	2.9	(24)	↘
35	軽油	中部取	870	27,580	3.1	(27)	↘
36	大豆ミール	福岡取	833	5,739	14.5	(36)	↗
37	小豆	関西取	825	987	83.5	(40)	↗
38	プロイラー	福岡取	722	6,610	10.9	(35)	↘
39	粗糖	関西取	717	1,425	50.3	(38)	↗
40	生糸	〃	562	605	92.8	(43)	↗
41	IOM一般大豆	福岡取	559	1,019	54.8	(39)	↗
42	小豆	〃	550	624	88.1	(42)	↗
43	精糖	東穀取	270	258	104.6	(44)	↗
44	精糖	関西取	270	258	104.6	(45)	↗
45	精糖	福岡取	135	129	104.6	(47)	↗
46	軽油	東工取	53	32,104	0.1	(23)	↘
合計			9,364,761	11,313,119	82.8		↘

●取引所別出来高 (単位:枚・%)

取引所	平成17年8月(A)	前年同月計(B)	(A/B)	平成17年1～8月(C)	前年同期累計(D)	(C/D)
東工取	5,196,398	6,061,902	85.7	37,069,632	52,762,297	70.3
東穀取	2,127,476	1,536,921	138.4	18,443,622	18,353,714	100.5
中部取	1,794,925	2,921,536	61.4	16,477,028	21,486,149	76.7
大阪取	113,454	302,073	37.6	1,246,044	2,868,802	43.4
福岡取	66,667	165,258	40.3	752,998	2,245,952	33.5
関西取	49,848	229,978	21.7	805,096	1,762,267	45.7
横浜取	15,993	95,451	16.8	340,409	804,927	42.3
合計	9,364,761	11,313,119	82.8	75,134,829	100,284,108	74.9

外国為替証拠金取引協会 藤井和雄会長に聞く



金融先物取引法改正に協力 協会員の紛議は少ない

7月に改正金融先物取引法が施行され、外国為替証拠金取引も新しい段階に入った。そこで、長年、苦情処理と自主規制の確立に尽力してきた藤井和雄外国為替証拠金取引協会会長に現状と展望を聞いた。藤井会長は「外国為替証拠金取引や商品先物取引の将来性は大きい」としながら、「当協会と金融先物取引業協会との一本化問題があるが3、4カ月内に決着するのではないか」と示唆した。

藤井 第1の目的は自主規制です。最近、外国為替証拠金取引でトラブルが起これば、「当協会に加盟している社は自主的に規制を守っている」ということを広く世間にアピールすることで、加入していない業者との差別化を図り、信頼性を高めていきたい。そのために、自主規制や会計規則を統一し、外国為替証拠金取引が透明性のある市場であると広く世間に

協会の役割は。

理事の 半分以上は外部

——会員構成はどうなっていますか。

藤井 現在22社で、うち証券会社が1社、残りが商品取引員会社で、独立系の業者は入っていません。ただ、会員の中から会長を出す、信用されませんので、(東京三菱銀行出身の)私が会長になり、理事も業界内の人が4人に対し、業界以外の方を5人としています。

——現在行っている主な事業は。

藤井 金融先物取引法の改正に当たって金融庁と接点を持ち、業界の立場からいろいろ意見を述べ、数点直して頂きました。施行も若干、期間を設けるなど柔軟に対応して頂きました。あまり、世間に喧伝していませんが、改正に役立ったと自負しています。

資本金規制は必要

——7月の改正金融先物取引法で資本金5,000万円以上の事業者しか取り扱いきなりました。

藤井 証券業法と同じで、その程度の規制は必要ではないでしょうか。たくさんのお金を預かるのですから、むしろ少ないとの意見もあるくらいです。入り口の敷居は高くなりましたがよいと思います。

——外国為替証拠金取引をめぐっては、被害、苦情が数多く起こっています。藤井 トラブルのほとんどが独立系業者です。七月

東京金先とは 共存共栄

——東京金融先物取引所が外国為替証拠金取引を上場しました。

藤井 市場を拡大する一つの方法であり、悪いことではないと思います。外国為替証拠金取引は相対でもできる世界であり、業者から情報を受けることもできるので、初心者も業者を通じての取引が便利だと思います。ただ、取引所での取引は透明性も高いので、「情報の提供はいいらない」といった、プロやセミプロの方には向いているのかもしれない。

——ライバルになるのでは。藤井 いや、むしろ共存共栄でいけると思っています。為替も先物も

大阪で専門の取引所 伸びる

——大阪で専門の取引所設立構想があります。藤井 簡単にはいかないのではないのでしょうか。東京で始まる前ならともかく、東京で始まった以上、関西で行うのは意味がない気がします。システムにもお金がかかりますし。

——外国為替証拠金取引の将来性は。藤井 伸びていくと思います。そのためには認知を広げ、信頼性を高める必要があります。

——商品先物取引も伸びるのでしょうか。藤井 伸びます。今後は証券、銀行などの業界からも入ってきて、よい商品を並べるようになるでしょう。投資家もついてくるでしょう。原油高騰を見る時、企業にとっても先物取引を行うのがリスクではなく、行わな

——協会は業界発展のため、今後、どのようなことを行う考えですか。藤井 実は改正金融先物取引法施行後、金融先物取引業協会との一本化の話が出ています。金融先物取引業協会は銀行、証券会社などが入っており、主に金利先物を行っている企業の団体ですので、当協会とは設立趣旨が違います。ただ、一本化する方がコストが安くなり、なにかと便利との声もあります。業界別に自主規制機関をつくり、ルールをつくり、それから一本化できるならば、それがよいとは思いますが、いずれにせよ、3、4カ月内くらいまでに結論が出ると思います。

金先協会と一本化も

——協会は業界発展のため、今後、どのようなことを行う考えですか。

藤井 実は改正金融先物取引法施行後、金融先物取引業協会との一本化の話が出ています。金融先物取引業協会は銀行、証券会社などが入っており、主に金利先物を行っている企業の団体ですので、当協会とは設立趣旨が違います。ただ、一本化する方がコストが安くなり、なにかと便利との声もあります。業界別に自主規制機関をつくり、ルールをつくり、それから一本化できるならば、それがよいとは思いますが、いずれにせよ、3、4カ月内くらいまでに結論が出ると思います。

——投資サービス法についてどうお考えですか。藤井 成立まで3年程度かかるのではないのでしょうか。ただ、それができると、ようやくインフラがニューヨークやロンドン並みになるといえます。

商品先物取引を始めるときにインターネットや新聞の相場欄を見てリスクとリターンがどのくらいになるかをシミュレーションするといえます。

注目!! 日経新聞・木曜朝刊(隔週) 国際面に掲載、商品先物取引シリーズ

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑫

株式評論家 植木靖男

景気の回復を願うよりは、積極的に資産を増やす工夫を。資金効率が高い商品先物取引は前向きな資産運用法として魅力的ですね。

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑬

証券アナリスト 鈴木一之

商品先物取引を始めるときにインターネットや新聞の相場欄を見てリスクとリターンがどのくらいになるかをシミュレーションするといえます。

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑭

テクニカルアナリスト 安部雪春

暮らしへの影響も懸念される原油高。その先行きを占う意味でも、先物市場における原油の先行指標価格からは目が離せません。

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑮

キャスター・エッセイスト 福島敦子

リスクを避けるのではなく、リスクをとるといふ発想がこれからの資産運用には必要。自己責任のとれる範囲内なら、商品先物取引も選択肢のひとつですね。

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>

確かな未来へ、商品先物取引 シリーズ ⑯

テクニカルアナリスト 浅井 宏

商品先物取引には異なる市場間での裁定取引やオプション取引などもあります。運用目標に沿って、これらを戦略的に活用した投資も検討したいですね。

JCFIA 日本商品先物振興協会 <http://www.jcfia.gr.jp/>